

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当地区である希望が丘地区、希望が丘南地区は、住民の方々が活発に福祉活動に取り組まれている地域です。住宅の多い地区で、昨今は若い世帯の転入も増えています。今後の方向性として、高齢化率の上昇に伴い「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を推進していきます。また、地域の会議やイベントに参加することで、アセスメントの機会を多くもちニーズを把握し、事業の企画や講座へ反映していきます。必要とされる情報発信を行い、総合相談窓口としての役割を果たしていきます。
様々な専門機関と連携し、地域活動やボランティア団体の活動を支援し、支え合えるネットワークの輪作りに取り組んでいきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	横浜市チームオレンジモデル事業を今年度と来年度にかけて取り組み、今ある既存の認知症カフェやサポーター養成講座を受けた方、商店会、金融機関、事業所、本人、家族とチームを作り、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指します。まずはネットワークを構築し、最終的には住民主体の活動となるよう、推進していきます。
<input type="checkbox"/>	■	希望が丘地区の第4期地域福祉保健計画の目標Cでもある「ちょっとした困りごとを地域で解決」に対し、必要な生活支援を考えるための協議体を立ち上げ、以前行ったアンケート調査等を参考にしながら、地域住民とともに活動の発展につなげていきます。また、保健活動推進委員やスポーツ推進委員などに働きかけ、「公園で体操」など介護予防の参加をうながし、コロナで出ることが難しくなっている高齢者などの社会参加の機会を作ります。
■	<input type="checkbox"/>	ケアプラザで開催している「こどもの居場所かけはし」では事業内容に共感した地域住民のボランティアによって成り立っています。希望が丘南地区の第4期地域計画の目標Cにあるように、「自ら参加したくなる地域活動」に対し、新たな担い手や活動を増やし、地域住民が関心を持てる機会を継続して提供していきます。
■	<input type="checkbox"/>	ケアプラザの機能の周知を行き渡らせるための活動として、連合に所属していない自治会エリアの方や、自治会に所属していない方等を対象に、積極的に地域の活動に参加したり、戸別訪問・出張相談等のアウトリーチの企画を実施していきます。また、ICTの活用を促進を通し、SNS等の媒体を使った幅広い世代へのケアプラザの周知を検討・企画していきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

「南希望が丘CPチームオレンジ」では10、11月に講座、講演会を開催し、ステップアップ講座やグループワークでは「本人の気持ち」に注目し、「我が事」として考えられるようなきっかけを作りました。地域で働く人、認知症について学びたい人など若い方から高齢者までの参加があり、グループワークでお互いの意見をきけたこともよいきっかけになったと感じています。3月にはコミュニティコーピング体験会、4月には若年性認知症の方のお話を開催し、高齢社会による地域課題を自分たちで解決していけるきっかけの一つになるよう、来年度も引き続きチームオレンジを継続していきます。

希望が丘地区ではささえあい連絡会、見守り活動連絡会、三者連絡会（老人会）と地域課題に対しての協議の場が増えてきています。地域課題の把握や我が事として考えるには、話し合いの場や考えるきっかけが必要と考え、地域のデータや数年前のアンケート調査、ケアプラザへの相談事例など、地域課題に対して協議する場にあらゆる情報提供の準備をし、都度働きかけを行いました。それにより地域の皆さんの課題解決に対する意識が高くなり、積極的に協議をしていこうという体制の構築が進んでいます。

不登校の子どもの居場所としてたちあげた、「こどもの居場所かけはし」や「作って食べよう」では、事業に関心を持った新たな担い手や活動が増えています。事業終了時の振り返りで、ボランティアさんの思いや不安、子どもたちへの対応の仕方を共有することで、子どもたちを皆で支えていこうというチーム意識の醸成につながっています。

希望が丘地区の見守り活動連絡会で「そうだ！相談しよう」というチラシを地域の皆さんとともに作成し、地区社協、連合、ケアプラザの連名で全戸配布しました。自治会未加入世帯にも配布し、「地域での見守り」「困った時の相談先」など、情報が届きにくい人にも届けることができるよう努めました。また、どの世代の方にもアプローチできるよう、講座や勉強会など申込の方法を電話、来所、メール、QRコードと多様にし、興味を持ってもらえるよう努めました。エコライフセミナーではQRコードからの申込が10名程度あり、ゲーグルフォームを活用し、講師への事前質問などを受けることができ、有効的だと感じました。

□ 区からのコメント

・希望が丘地区の見守り活動連絡会と話し合いを重ねて作成した「相談チラシ」は、自治会への加入の有無に関わらず全戸配布することで、情報がより多くの人に届き、新たな相談へと繋がっています。相談から見えてきた新たな気づきや課題を地域とケアプラザで共有し、これからも希望が丘地区が目指す「世代や環境を超えてコミュニケーションが自然と生まれるまち」の実現に向けて、地域と連携して取り組んでいってください。

・地域活動の担い手不足という大きな課題に対して、引き続き地域人材の発掘・育成を目的として、働き・子育て世代を対象とした事業企画やICTを活用した情報発信、学校や多分野の事業者等とのネットワーク構築に努めてください。

・個別課題、地域課題について日常的な情報共有を行うことで、所内での役割分担や課題解決に向けた取組の検討につながると思います。他職種で働く強みを活かせるよう、それぞれが参加している会議、連絡会の情報共有を行う機会もぜひ設けてください。また、経験の浅い職員等もいる他の地域包括支援センターにも経験から得た知識や技術等共有していただき、区全体の支援力の底上げに力を貸してください。

令和4年度横浜市南希望が丘ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	相談援助の際は、利用者の視点に立った対応を心掛け相談対応にあたります。複数の選択肢があることを相談者が知る機会を設けた上で、相談者の意志を尊重し、選定判断出来るよう公正中立な運営に努めます。	「個人情報保護」「人権擁護」など福祉従事者に必要とされる研修を計画的に実施します。事故防止の取り組みは、業者による設備点検及び、設備管理者による日常的な点検(異音、動きの変化等)を確認します。事故及びリスクの高い事柄は、法人リスクマネジメント委員会にも報告し再発防止に努めます。
実績	相談援助の際は、利用者の視点に立ち、本人が選択、自己決定しやすいようニーズに合った情報を選択出来るようにし、複数の情報の提供や見学等の調整も積極的におこない自己決定出来る環境を作っています。	令和4年度内部研修として5月に「LGBTの理解」について、7月に「個人情報保護」2月に「高齢者虐待」について全職員で学び理解を深めました。施設設備に関しては専門業者がおこなう点検、設備管理者による異音や不具合の確認をし事故防止に取組みました。通所介護部門で車両事故が発生したことを踏まえ、全職員に向けて安全運転研修を実施し運転に対する意識を高めました。今後も再発防止に取り組んでいきます。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要支援1.2、事業対象者と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成し、作成にあたっては、サービス利用後の生活がイメージできるような明確な目標設定を行い、行動意欲を高め、本人の主体性を尊重します。また、委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携及び支援を行います。	ご利用者の気持ちに寄り添い、自分らしい生活が続けられるよう支援します。多様なニーズに応えられるよう、地域のサービス事業所・医療機関・ボランティア団体等との連携を図り、公正中立な支援が行えるように努めます。
利用料金・実費負担	介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントについては、原則として利用者の負担はありません。事業所の担当地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)を請求します。	事業実施地域である旭区・泉区・瀬谷区を超えて指定居宅介護支援を行う場合には、それに要した公共交通機関利用料金の実費又は自動車を使用した場合片道1km毎に30円の交通費を請求します。
職員体制	管理者 保健師等 1名(常勤兼務) 主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務)	管理者は常勤兼務(当該事業所の居宅介護支援と兼務)の主任介護支援専門員を配置。常勤専従の介護支援専門員2名。
契約者数	271人	128人

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			

実施体制	【実施日数】	【実施日数】	【実施日数】
	【提供時間】	【提供時間】	【提供時間】
	【定員】	【定員】	【定員】
利用料金・実負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】	【延べ利用者数】	【延べ利用者数】
	【契約者数】	【契約者数】	【契約者数】

令和4年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部	科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料		19,351,920	206,500	19,558,420	19,447,163	111,257	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）		0		0	110,200	△ 110,200	
横浜市による運営支援			672,290	672,290	672,290	0	
雑入		0	0	0	24,530	△ 24,530	
印刷代		0		0			
自動販売機手数料		0		0	10,560	△ 10,560	
その他		0		0	13,970	△ 13,970	
その他		0	851,000	851,000	851,000	0	物価高騰に伴う管理運営支援金
収入合計		19,351,920	1,729,790	21,081,710	21,105,183	△ 23,473	

支出の部	科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費		10,851,210	0	10,851,210	9,278,729	1,572,481	
本俸		8,496,210		8,496,210	7,253,581	1,242,629	
社会保険料		710,000		710,000	717,423	△ 7,423	
手当計		1,500,000		1,500,000	1,144,989	355,011	
健康診断費		40,000		40,000	30,800	9,200	
勤労者福祉共済掛金		0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額		35,000		35,000	31,795	3,205	
その他		70,000		70,000	100,141	△ 30,141	
事務費		2,616,431	0	2,616,431	2,007,693	608,738	
旅費		40,000		40,000	17,226	22,774	
消耗品費		735,871		735,871	270,318	465,553	
会議随費		0		0	0	0	
印刷製本費		30,000		30,000	8,718	21,282	
通信費		600,000		600,000	563,763	36,237	
使用料及び賃借料		10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）		10,560		10,560	10,560	0	
その他		0		0	0	0	
備品購入費		400,000		400,000	124,452	275,548	
図書購入費		0		0	0	0	
施設賠償責任保険		0		0	0	0	
職員等研修費		40,000		40,000	10,125	29,875	
振込手数料		0		0	4,015	△ 4,015	
リース料		60,000		60,000	53,580	6,420	
手数料		100,000		100,000	61,882	38,118	
地域協力費		0		0	0	0	
その他		600,000		600,000	883,054	△ 283,054	
事業費		937,667	0	937,667	442,262	495,405	
運営協議会経費		42,000		42,000	32,615	9,385	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）		895,667		895,667	409,647	486,020	
その他		0		0	0	0	
I C T整備費（追加）		0	196,500	196,500	196,000	500	
I C T整備費（追加）			196,500	196,500	196,000	500	
サニタリーボックス（追加）		0	10,000	10,000	7,500	2,500	
サニタリーボックス			10,000	10,000	7,500	2,500	
管理費		3,387,491	0	3,387,491	3,272,764	114,727	
光熱水費		2,568,491		2,568,491	2,377,048	191,443	
清掃費		210,000		210,000	212,926	△ 2,926	
機械警備費		0		0	0	0	
設備保全費		309,000	0	309,000	429,901	△ 120,901	
空調衛生設備保守		20,000		20,000	62,999	△ 42,999	
消防設備保守		22,000		22,000	21,389	611	
電気設備保守		165,000		165,000	192,886	△ 27,886	
害虫駆除清掃保守		30,000		30,000	29,555	445	
駐車場設備保全費		72,000		72,000	70,932	1,068	
その他保全費		0		0	52,140	△ 52,140	
共益費		0		0	0	0	
その他		300,000		300,000	252,889	47,111	
修繕費		474,000	0	474,000	363,243	110,757	
公租公課		1,085,121	0	1,085,121	927,872	157,249	
事業所税		0		0	0	0	
消費税		1,085,121		1,085,121	927,872	157,249	
印紙税		0		0	0	0	
その他		0		0	0	0	
その他		0	0	0	0	0	
支出合計		19,351,920	206,500	19,558,420	16,496,063	3,062,357	
差引		0	1,523,290	1,523,290	4,609,120	△ 3,085,830	

自主事業費 収入	0	0	0	110,200	△ 110,200	
自主事業費 支出	895,667	0	895,667	409,647	486,020	
自主事業 収支	△ 895,667	0	△ 895,667	△ 299,447	△ 596,220	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
--------------------	---	---	---	--------	----------	----------------------

令和4年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,490,657	0	23,490,657	23,083,214	407,443	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,801,509		5,801,509	5,801,509	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000	300,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0	9,300	△ 9,300	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0	9,300	△ 9,300	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
横浜市による運営支援		178,710	178,710	178,710	0	
雑入	0	0	0	10,560	△ 10,560	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	10,560	△ 10,560	
その他	0		0	0	0	
その他	1,156,000		1,156,000	1,156,000	0	利用料金収支
収入合計	30,902,166	178,710	31,080,876	30,702,593	378,283	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,941,591	0	26,941,591	26,421,337	520,254	
本俸	15,656,591		15,656,591	14,340,089	1,316,502	
社会保険料	3,500,000		3,500,000	3,380,471	119,529	
手当計	7,000,000		7,000,000	7,837,987	△ 837,987	
健康診断費	30,000		30,000	24,640	5,360	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	505,000		505,000	502,335	2,665	
その他	250,000		250,000	335,815	△ 85,815	
事務費	1,425,824	0	1,425,824	823,129	602,695	
旅費	10,000		10,000	14,017	△ 4,017	
消耗品費	300,000		300,000	56,377	243,623	
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	20,000		20,000	8,718	11,282	
通信費	70,000		70,000	61,462	8,538	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	10,560	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560	10,560	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	300,000		300,000	0	300,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	40,000		40,000	31,950	8,050	
振込手数料	15,000		15,000	6,820	8,180	
リース料	50,000		50,000	81,900	△ 31,900	
手数料	40,000		40,000	17,648	22,352	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	570,264		570,264	533,677	36,587	
事業費	1,508,279	0	1,508,279	858,983	649,296	
協力医	630,000	0	630,000	252,000	378,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	109,279		109,279	63,860	45,419	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	153,476	524	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	258,003	56,997	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000	131,644	168,356	
その他	0		0	0	0	
管理費	900,472	0	900,472	869,967	30,505	
光熱水費	686,472		686,472	631,873	54,599	
清掃費	55,000		55,000	56,598	△ 1,598	
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	89,000	0	89,000	114,273	△ 25,273	
空調衛生設備保守	5,000		5,000	16,746	△ 11,746	
消防設備保守	6,000		6,000	5,685	315	
電気設備保守	50,000		50,000	51,271	△ 1,271	
害虫駆除清掃保守	8,000		8,000	7,856	144	
駐車場設備保全費	20,000		20,000	18,855	1,145	
その他保全費	0		0	13,860	△ 13,860	
共益費	0		0	0	0	
その他	70,000		70,000	67,223	2,777	
修繕費	126,000		126,000	96,557	29,443	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	30,902,166	0	30,902,166	29,069,973	1,832,193	
差引	0	178,710	178,710	1,832,820	△ 1,453,910	

自主事業費 収入	0	0	0	18,600	△ 18,600	
自主事業費 支出	878,279	0	878,279	606,983	271,296	
自主事業 収支	△ 878,279	0	△ 878,279	△ 588,383	△ 289,896	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	10,560	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				3,900	4,935	-1,035	17,770	21,819	-4,049			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	3,900	4,935	-1,035	17,770	21,819	-4,049	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0	0	0	0	13,000	14,952	-1,952			0			0
	事務費			0	234	1,330	-1,096	500	971	-471			0			0
	事業費			0	0	0	0	50	34	16			0			0
	管理費			0	0	0	0			0			0			0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	234	1,330	-1,096	13,550	15,957	-2,407	0	0	0	0	0	0
	収支(A)-(B)	0	0	0	3,666	3,605	61	4,220	5,862	-1,642	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	シニアサポーターひまわり	平成25年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	地域活動の介護予防ボランティアの一員として活動できるスキルを学ぶことで、自分たちの生きがいや地域の担い手になっていく気持ちが育つように、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターが協働して支援を行います。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「南希の森」継続支援に向けて、活動内容や自分たちに出来る介護予防普及啓発活動を身に付けていけるよう継続支援していきます。また、介護予防教室開催に向けて、ボランティア活動ができるスキルが身に付くよう支援していきます。 勉強会年4回程度 活動月4回程度	24	85
2	免疫力アップ教室	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍の中、外出の機会が少なくなり、高齢者の多くがフレイル状態に陥っているようです。運動の機会を持つと共に栄養や口腔機能の維持改善の重要性も学べる教室を開催します。また、教室に参加することで、地域の方との交流も深めていただけたいと思っています。	1:高齢者	5	令和3年度に引き続き免疫力アップ教室を開催する。ゆるく体を動かす運動から、運動習慣が身に付く教室を目指します。運動、栄養、口腔機能向上だけではなく、笑いヨガを取り入れ心身共にリフレッシュしていただきながら体調を整え、免疫力のアップに繋がるよう学んでいただきます。全7回 5月から12月(8月を除く)	7	139
3	ウォーキングで筋活	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の特徴として坂道が多い。下肢筋力が低下すると外出することが難しくなります。いつまでもご自身の足で歩き生活が楽しめるよう、歩くことで下肢筋力のアップに繋がる歩き方を学んでいただきます。	1:高齢者	5	姿勢を整えるところから学び、歩くことで下肢筋力だけでなく全身の筋力アップを行い、健康寿命を延ばす運動の機会とします。毎日の歩行が筋力の機会に変えられるよう歩行の仕方を学ぶ教室です。	4	70
4	元気づくりステーション「南希の森」	平成25年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行います。また、参加者に対して、より一層自分達の運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「南希の森」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週火曜日10時～11時	20	293
5	元気づくりステーション「ヒルズのわ」	平成27年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行います。また、参加者に対して、より一層自分達の運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「ヒルズのわ」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日10時～11時	17	285
6	元気づくりステーション「ホープの友」	平成28年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行います。また、参加者に対して、より一層自分達の運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「ホープの友」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日14時～15時半	16	242
7	元気づくりステーション「中の原の和」	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行います。また、参加者に対して、より一層自分達の運営の意識を高めていけるよう支援していきます。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「中の原の和」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。第1・3月曜日14時～15時	13	126
8	介護者の集い	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の介護者を対象に、施設協力のアドバンスも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、介護に役立つ情報の提供、介護の悩みや疲れを共有できる場づくりを目的とします。	5:地域		介護者同士の交流や情報交換を行い、介護者の精神的負担の軽減、介護者の心の支えとなる場づくりを行っていきます。奇数月第2水曜日、年6回実施。	6	46
9	認知症ビデオ上映会	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症についての当事者の視点を学び、我が事として捉える機会を提供するとともに、認知症について共有し合える定期的な場を形成し、地域において認知症啓発の意識を醸成していきます。	5:地域		認知症当事者やその家族等についてのビデオを視聴し、その内容についての意見交換や認知症に関わる事柄についての情報交換を行います。偶数月第2土曜日、年5回実施。	3	20
10	無料法律相談	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に対し、成年後見制度の手続きや遺言作成、相続問題等について法律の専門職の支援を身近に受けることができる機会を提供すると共に、ケアプラザと権利擁護機関との連携を強化することを目的とします。	5:地域		司法書士の先生による無料の個別法律相談を実施していきます。奇数月第2水曜日 年6回実施	5	6
11	認知症講座(講演会)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の実情を知り、地域住民が地域の問題として捉えることができるよう、認知症についての正しい理解の普及・啓発を目的とします。	5:地域		認知症の早期発見と予防について、認知症の実情を交えケアプラザ協力医による講座を実施します。年1回実施 10月	1	28
12	旭区版エンディングノート活用講座	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	旭区版エンディングノートを一緒に書いていく過程を通して、これまでの生活を振り返り、これからの生活を安心して豊かに過ごせるようサポートしていくことを目的とします。	5:地域	1	旭区版エンディングノートの書き方の説明に合わせて、健康寿命・介護保険制度・成年後見制度・葬儀・相続・お墓等についても触れ、参加者と共にノートの理解と記入を完成させていきます。年2回実施	3	40
13	消費者被害防止講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民が、頻発している振り込み詐欺等の悪質商法被害の実態を理解し、被害にあわないための知識、解決のポイントを学び、被害防止ができることを目的とします。	1:高齢者	5	消費生活総合センターの職員を講師として消費者被害防止を講義形式で行います。年1回実施	2	13

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	認知症サポーター養成講座	平成21年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域において、認知症についての理解を深め、認知症サポーターを少しでも増やし、認知症の方が安心して暮らせるまちづくりを推進していくことを目的とします。	5:地域		認知症サポーター養成講座として、講和やグループワーク・体験談等を通して認知症への理解を深めてもらうと共に、地域資源の紹介等を通し、地域のサポーターとして認知症を支える取り組みを身近なものとして行えるようにしていきます。年2回実施	1	25
15	希望が丘南地区ジュニアボランティア養成講座	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	希望が丘南地区のジュニアボランティアを対象に、ケアプラザの役割や高齢者・認知症についての理解を深めてもらい、ボランティア活動につなげることを目的とします。	4:子ども・青少年		福祉に対する理解を深めるため、高齢者や認知症についての講義の実施や福祉体験を実施します。年1回実施 8月	1	8
16	希望が丘地区ジュニアボランティア養成講座	平成27年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	希望が丘地区のジュニアボランティアを対象に、ケアプラザの役割や高齢者・認知症についての理解を深めてもらい、ボランティア活動につなげることを目的とします。	4:子ども・青少年		福祉に対する理解を深めるため、高齢者や認知症についての講義の実施や福祉体験を実施します。年1回実施 8月	1	15
17	ミ・ティ	平成21年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	ハンドベルや工作による手作業、脳トレや体を軽く動かすミニ運動会などの介護予防の要素を盛り込んだ事業への月に1回程度の参加を通して、高齢者の閉じこもりを防止し、仲間づくりの機会にすることを目的とします。	1:高齢者		季節にちなんだテーマに沿って、音楽活動や工作活動、体操およびレクリエーション活動、外出レクを行い、閉じこもり防止と外出の機会・他者交流の機会の提供・介護予防に取り組みしていきます。毎月第2月曜日(8月除く)年11回実施。	11	146
18	希望が丘南地区買い物支援プロジェクト	平成30年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	買い物する場所が遠く、また免許返納などで買い物に困難なエリアの方達が少しでも外出でき、目で見て買い物できる機会を増やす事ができ、地域のコミュニティの場となるような活動を地域住民とともに目指します。	5:地域		移動販売開始から1年半が経ち、地域主体の活動となっている。新しい業者への開拓など、定期的に話し合いの場を持ち、地域に根差した活動となるよう引き続き支援する。	61	559
19	希望が丘地区地域でちょっとした困りごとについて考える	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域住民からのちょっとした困りごと、一人暮らし高齢者の孤立化などの課題を提案し、地域で考え、地域住民が課題解決に向けての活動の創生を目指すことを目的とします。	5:地域		今までに行った地域福祉のアンケート結果から読み取れる課題について地域に働きかけ、話し合いの場やちいきローラムなどを開催し、協議体へと発展させる。	4	43
20	ステップ1・2希望の風	平成29年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	介護予防の啓発、集いの場の運営など地域の担い手としての活躍や、社会参加の場の提供を目的として一昨年度創設したスクエアステップ(介護予防・認知症予防)のボランティア団体の活動の支援、活動の場の提供を行います。	5:地域		「みんなの集いの場」の運営、生活支援・介護予防補助事業サービスBの登録団体である希望カフェの活動支援等の活動の充実を目的とし、ミーティングや勉強会を開催します。 ●ミーティング(年6回) ●活動月2回程度 ●希望カフェ支援(月1回)	7	64
21	ミュージックボランティア音楽る	平成29年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	高齢者の集う場所やサロン、また子供たちの集う場所などで「音楽で地域を元気に」を目的として一昨年度創設したミュージックボランティア、地域の担い手として、また社会参加のきっかけづくりとして、引き続き活躍の場の提供、活動の支援を行います。地域とボランティアの連携も図ります。	5:地域		新しい生活様式をふまえ、何ができるかを、ボランティアの皆さんと考え、決めた活動の充実、活動を充実させるためのミーティングや勉強会を開催します。Zoomを活用したミーティングを行う。 ●ミーティング 毎月第1又は第2月曜日 ●活動 月2回程度	21	180
22	オンラインうたごえ「音楽る」	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ミュージックボランティア音楽るを中心に、コロナ禍で外出が難しい地域住民へ向け、社会参加の場を目的とし、世代や地域を超えた交流の場の提供を行います。	5:地域		Zoomを活用しオンラインでうたごえ音楽るを開催する。ボランティア自身の社会参加、参加者との交流の場となり、同じ場を共有することでつながりを感じられる場とする。毎月第4月曜日	9	164
23	旭区ちよこボランティア連絡会	平成29年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	生活支援体制整備事業の啓発をふまえ、事業の目的の1つである「生活支援」サービスの充実を図るため、旭区生活支援コーディネーター全体旭区内で活動するちよこボランティアの団体に働きかける。	5:地域	6	旭区生活支援コーディネーターと協働して旭区エリア内での旭区ちよこボランティア連絡会を開催します。コロナ禍においての活動の実態調査なども行う。旭区エリア内 開催回数は未定	1	54
24	希望が丘南地区ボランティアネットの会	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域には子育て、障害児・者、高齢者などさまざまな分野での困りごとをサポートするボランティア団体いくつもある。地域共生社会を目指すため、分野をこえた課題共有の場やお互いの情報共有の場となる協議の場を設ける。	5:地域	6	希望が丘南地区社協と共催し、希望が丘南地区の子育て、障害、高齢分野での活動団体に出席してもらい連絡会を開催する。地域の活動団体間の情報共有や課題共有の場をつくり、ネットワークの構築を目指す。年3回程度(不定期)	5	40
25	みんなの集いの場	平成30年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	エリアを確定しない教会(付属の幼稚園)の集会室を利用し、誰もが気軽に参加できる目的でたちあげた「みんなの集いの場」。コロナ禍において活動場所を2つの公園げへととし、誰もが参加しやすい活動となるよう支援する。	1:高齢者	3, 4, 5	ステップ1・2希望の風とこーヒーボランティアが中心となり、身近な場所が集まり、気軽に運動できる集いの場の運営・活動を支援していきます。毎月第2・第4火曜日 10時～11時	20	362

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
- 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
- 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
- 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
- 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
- 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
26	認知症&予防カフェ みなとの茶店 きっさブルメリア 支援	平成29年度	6:共催(2と3)	2:発展させる ねらい	「きぼうタウンプロジェクト」の取組として立ち上がった2か所の認知症&予防カフェにおいて認知症への理解・啓発を連携して行うことを目的とします。	1:高齢者	5	「みなとの茶店」と「きっさブルメリア」の後方支援として、運営支援、活動支援を引き続き行います。 みなとの茶店 毎月第3水曜日 14:30~15:30 きっさブルメリア 毎月第3日曜日 14:00~15:00	22	272
27	生活支援・介護予防補助事業 サービスB 希望カフェ 支援	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に 取り組み	生活支援・介護予防補助事業サービスB(通所支援)の取組に手を挙げた希望が丘商店会中にあるコミュニティカフェ「希望カフェ」の活動支援を行い、旭区役所、旭区社協と連携しながら事業を円滑に進められるよう、また、地域に根差した活動となれるよう、支援を行います。	6:事業者	5	事業の理解を深めてもらうため、スタッフ向けの勉強会の開催、介護予防プログラムのボランティア派遣、地域とのネットワークの構築等、活動に向けての支援を継続して行います。 介護予防プログラム活動支援 第2水曜 13:30~ 定例会・勉強会 年3回程度実施	7	38
28	スマホ・パソコン活用講座 よろず相談	令和3年度	3:生活支援体制 整備事業	1:優先的に 取り組み	コロナ禍において、交流の場が減少し、コミュニケーションをとることが難しくなっている。パソコンやスマホの使用を苦手と考えている高齢者に向け、情報を自分から取りにいったり、交流を深める手段としてICTを活用できるような講座の開催を行う。	1:高齢者		主に高齢者を対象にICT活用講座を開催する。ICTが得意な地域のボランティア団体や専門学校生などと連携して、開催の仕方などを考える。 年2回程度(ケアプラザ、地区センターなど)	0	0
29	南希！演芸座	令和3年度	5:共催(1と3)	2:発展させる ねらい	コロナ禍において、頑張ってきた活動の成果や取組を発表することが世代を問わず難しくなった。この2年間でできなかったことをケアプラザの場を貸ステージとして利用してもらい、大切な人へ思いを伝える場として活用してもらおう。	5:地域		子供から大人まで誰もが利用できるステージとして活用してもらい、ステージに立つ側、参加する側とゆるやかな交流の場となるよう開催する。(利用したい方がいたときに開催) 不定期	0	0
30	横浜市チームオレンジモデル 事業	令和4年度	7:共催(1と2と 3)	1:優先的に 取り組み	認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、ケアプラザ5職種がコーディネーター機能をいかし、地域とともにチームオレンジを作る。令和5年度の2年間で取り組みを行う。	5:地域		チームオレンジへの働きかけ(説明会)、認知症サポーター養成ステップアップ講座の開催、チームオレンジ立ち上げ後の協議の場(協議体)など、様々な取り組みを5職種で連携し、地域住民と行う。	5	98
31	SDGs勉強会 エコライフセミナー	令和4年度	3:生活支援体制 整備事業	1:優先的に 取り組み	地域へのSDGSの取り組みへの働きかけを希望が丘南地区社協の消費生活、環境、保健活動委員と共催して開催。	5:地域		SDGSの先進国であるスウェーデンの方を講師にむかえ、サステナブルな生活を紹介してもらい、地域でできることは何か、住みやすい地域にどうやっていくかを考える。	2	87
32	子育てサロン mam-mam	平成26年度	1:地域活動交流 事業	1:優先的に 取り組み	0歳児から未就園児の親子を対象に親子の交流の場と、ママ同士の交流、ヨガをすることでママのリフレッシュを図ることを目的とします。	3:養育者及 び乳幼児		・前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催します。 ・イベントや行政との共催事業なども行います。 ・地域の子育て経験者にボランティアを呼びかけ、子どもの見守りのボランティアをしていただきます。 ・年10回 毎月第1木曜日9時30分~11時	12	93
33	親子のフリースペース	平成30年度	1:地域活動交流 事業	1:優先的に 取り組み	子育て支援の一環として、地域の子育て中のママたちの交流と、遊び場の提供を目的とします。	3:養育者及 び乳幼児		・親子のフリースペースとして多目的室を開放します。 ・年12回 毎月第3月曜日9時30分~11時	12	22
34	みんなの学習室	平成30年度	1:地域活動交流 事業	1:優先的に 取り組み	夜間帯の貸館の有効活用と、地域の方や中高生の学習する場や居場所の提供を目的とします。	5:地域		・地域ケアルームとボランティアルームを学習室として開放します。 ・コロナ感染拡大防止の観点から事前予約制としています。 ・毎月第1第3火曜日および第2第4月曜日18時~20時	0	0
35	ふらっとサロン	平成21年度	1:地域活動交流 事業	1:優先的に 取り組み	地域住民に交流の場と、ボランティア活動の場を提供することを目的とします。	5:地域		・現在はコロナ感染拡大防止の観点から飲み物のみ提供しています。 ・食べ物の提供については、コロナの状況を見つづき再開予定です。 ・ケアプラザ新聞やチラシ等で広く周知を行い、小さいお子さん連れや、障害のある方にも参加していただけるよう事業を実施します。 ・毎月第2日曜日13時~15時開催。	12	75
36	ゆったり体操教室	平成25年度	1:地域活動交流 事業	1:優先的に 取り組み	既存の体操教室に参加が難しい高齢者を対象に介護予防を目的とします。	1:高齢者		・イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を60分、カードや輪投げなどのレクリエーションやゲームを30分行います。 ・年24回毎月第2第4水曜日	23	177
37	登録団体説明会	平成25年度	1:地域活動交流 事業	1:優先的に 取り組み	ケアプラザを利用されている団体向けに、部屋貸し利用についてや、緊急時の避難経路について理解を図ることを目的とします。	5:地域		・貸館の申込みや利用方法、緊急時避難経路、福祉保健活動について説明を行います。 ・日ごろ利用されている皆さんからご意見を伺う時間を設けます。 ・年1回	2	44

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
- 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
- 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
- 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
- 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
- 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
38	ボランティアの集い	平成21年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	ケアプラザ事業等で活動されているボランティアを対象に、日頃の活動の感謝を伝えると共に、ボランティア同士の交流を目的とします。	5: 地域		・様々な事業等で活動されているボランティア同士の交流が図れるよう実施します。 ・ボランティアに関わる職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図ります。 ・年1回	1	22
39	みんなで大掃除会	平成21年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	登録団体の区分Ⅱの団体を対象に、福祉保健活動の活動の場を提供することを目的とします。	5: 地域		・日頃使用している部屋の清掃をしていただきます。 ・調理室を利用している団体には調理室を清掃してもらいます。 ・年1回 12月	1	32
40	ケアプラザ感謝祭	平成23年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	日頃の感謝の気持ちを込めて開催します。ケアプラザを利用していない地域の方にも、ケアプラザに足を運んでいただき、ケアプラザを知っていただくことを目的とします。	5: 地域		・子ども向けのコーナー、飲食販売コーナー、障害事業所の販売コーナー、ステージ発表等を設けます。 ・ボランティア活動の場の提供を行います。 ・年1回 10月15日予定。	1	148
41	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	平成23年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	65歳以上の方を対象に、ボランティア活動や地域活動の参加のきっかけづくりを目的とします。	1: 高齢者		・よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を実施します。 ・ケアプラザ自主事業でボランティア活動を始め方のほか、地域の一般の方にもケアプラザ新聞を通じて周知を行います。 ・年1回 3月	1	3
42	きぼうファーム	平成28年度	7 共催(1と2と3)	2: 発展させるねらい	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取組の一環として実施します。『きぼうファーム』を通じて、障害児者やご家族と交流を図り、顔の見える関係づくりや相互理解を深めることを目的とします。	2: 障害児・者		・障害児者余暇支援事業として、野菜の収穫祭、わくわくスポーツ会などを実施します。 ・年3回 6月、11月、1月	3	77
43	障害理解講座	平成30年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障害について多くの地域住民に知っていただき、啓発を行う事を目的とします。	5: 地域		講師を招いて「障害の理解と関わり方」について講演を行います。 年1回	1	16
44	旭ふれあい区民まつり行政・PRコーナー出展事業	平成24年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	来場しているお客様に地域ケアプラザについて知る機会を作ります。	5: 地域		・ケアプラザ機能の周知。 ・旭区13ケアプラザで協力し事業の紹介等実施します。	0	0
45	わくわく子どもクッキング	令和2年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域のお子様や親子を対象に余暇支援として、食育の観点から、作る楽しみを感じ達成感と自身で作ったお菓子を楽しむことを目的とします。	4: 子ども・青少年		・お菓子作りの前に、材料や作る工程を説明し講師の指導ですべて一緒に作ります。作り上げる楽しみを感じてもらおう。 ・コロナ感染拡大防止の為、現在中止していますが、コロナの状況を見つつ再開予定です。	0	0
46	えほんとわらべうたのひろば	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	わらべ歌を歌いながらのスキンシップや絵本を通し親子の心と体のふれあいを楽しんでもらう。地域のボランティアや同じような仲間とつながることで、育児中の孤立感を軽減を目的とする。	3: 養育者及び乳幼児		わらべ歌を歌いながらのスキンシップや絵本を通し親子の心と体のふれあいを楽しんでもらいます。地域のボランティアや同じような仲間とつながることで、育児中の孤立感の軽減を目的としています。毎月第4水曜日開催。	11	99
47	つながろうプロジェクト南希望が丘ケアプラザエリア	平成29年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障害のある方が地域で安心して生活できるまちづくりに向けて、地域住民と障がいのある方との相互理解を深めることを目的とする。	2: 障害児・者		地域の代表者・エリアにある障害事業所の代表者・社協の会長・民児協の会長が集まり、お互いの抱える問題や課題について情報の共有を行い、障害のある当事者の講演会や、障害の作業所の見学などを実施します。 年2～3回開催(不定期)	3	19
48	南希望が丘地域ケアプラザエリア防災拠点連絡会	平成30年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	ケアプラザのエリアにある3つの地域防災拠点と連携して、災害時における障害児者の防災拠点での受け入れや、対応方法について具体的な取組や仕組みづくりを行うことを目的とします。	5: 地域		・地域防災拠点や地域の関係団体と連携して、課題の共有や検討を行い、具体的な取組や仕組みづくりにつなげます。 ・避難所ヘルプカードの具体的な活用について地域住民と共に考え取組みます。 ・不定期	0	0
49	「こどもの居場所」とは？おしゃべり座談会	令和3年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	「こどもの居場所かけはし」を開催していくにあたりボランティアとして参加してくれる地域住民を募ることを目的としています。また、かけはしの活動内容を広く地域に発信していくことで地域住民に関心を持ってもらうことも目的としています。	4: 子ども・青少年		一般社団法人かけはしの廣瀬先生をお迎えし開催を行います。この地域に不登校の子供がいるという現状や居場所の必要がある子どもの実態、かけはしの活動内容を発信していく場とします。不定期開催。	0	0
50	こどもの居場所かけはし	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	不登校の小学生・中学生を対象に、学校にも家庭にも居場所がないと感じる子どもたちが、安心して過ごせる場の提供を目的としています。	5: 地域		一般社団法人かけはしの代表、廣瀬先生に来ていただき、地域のボランティアと共に、不登校の子供たちの居場所としてケアプラザの場を提供しています。ボランティアと関わることで、子ども達の自己肯定感を感じられる経験を積み重ねていきます。毎月第1、第3火曜日開催。	20	435

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
51	こども薬剤師体験	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の小学生を対象として薬に対する正しい知識を持つことと、将来の仕事の一つとして「薬剤費」という仕事があることを知る機会とします。また保護者の方にもケアプラザを知って頂くきっかけとします。	4:子ども・青少年		旭区薬剤師会との共催により、薬剤師と大学院生により開催します。多様な実験を含んだ講義により、小学生が薬に対して興味や正しい知識を得られる場とします。 年1回。	0	0
52	うたってわくわく	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民(主に中高年)を対象に歌を歌うことで健康増進、また横の繋がりが持てる交流の場の提供を目的とします。	5:地域	1	季節に合わせた曲や、誰もが知っている曲をピアノの伴奏に合わせ、マスクをしたまま口ずさみます。音楽に合わせて手拍子をうったり体を動かし、健康増進に努めます。	14	420
53	希望が丘地区見守り活動連絡会	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	希望が丘中地区社会福祉協議会を中心に、連合役員、民生委員、区役所、区社協、ケアプラザが連携をして、地域での「見守り」についてどんな活動、意識を持つかなどについて検討していくことを目的とした連絡会に参加し、支援していきます。	5:地域		2か月に1回ほど連絡会を希望が丘地区センターで開催し、地域での「見守り」について協議し、いくつになっても安心して暮らせる街を目指します。	8	83
54	調理室大掃除会	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	登録団体の区分Ⅱの、主に調理室を利用される団体を対象に、福祉保健活動の活動の場を提供することを目的とします。	5:地域		調理室を利用している団体に清掃してもらいます。 年1回 7/15実施	1	2
55	牛乳パックでサッカーボール	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休み期間の特別企画として小学生を対象に開催。	4:子ども・青少年		講師を招いて牛乳パックでサッカーボールを作成します。 年1回 8/8実施	1	6
56	こどもクッキング教室	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休み期間の特別企画として小学生を対象に開催。	4:子ども・青少年		障がい事業所パン工房ホップからパン講師と利用者を招いてちぎりパンを作成します。 年1回 8/22実施	1	11
57	作って食べよう!	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	不登校の小学生・中学生を対象に、学校にも家庭にも居場所がないと感じる子どもたちが、安心して過ごせる場の提供を目的としています。「作って食べよう!」では自分で料理をすることに特化した居場所です。	4:子ども・青少年	5	ハートフル・ポート、一般社団法人かけはしとケアプラザの共催です。ハートフル・ポートにて行っています。地域の方の畑で野菜を収穫し、自分たちで献立を考え、ボランティアさんと一緒に料理を行い、作った料理をみんなで食べます。安心して過ごせる環境の中、地域のボランティアとの関わりや「やってみたらできたよ!」「楽しいね」という体験を積み重ね、自己肯定感を育みます。	8	145
58	介護保険制度の基礎知識と活用講座	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	介護保険制度の仕組みや、介護保険サービスの種類と内容、利用するための手続きなど介護保険の基本をお伝えする講座です。	5:地域	1	南希望が丘地域ケアプラザ、地域包括支援センターの小谷氏に講義を担当してもらいました。介護保険の仕組みをホームページを用いながら詳しく説明してもらいました。 年1回 9/17に実施	1	16
59	祝賀袋を作ろう!	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	新年を迎えるときに、自分だけのオリジナルの祝賀袋を作成する。地域住民にケアお裏座の存在を知ってもらえるきっかけとする。また講座を通し、参加した地域住民同士の交流の場と成ることを目的とします。	5:地域		講師を招き、折り紙を使い自分だけのオリジナル祝賀袋を作成します。 年1回 12/5日実施	1	8
60	旭区認知症になっても地域で自分らしく暮らしていくために	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	旭区で「認知症になっても地域で自分らしく暮らしていくために」地域にはどのような資源があるのか、かかりつけ医や相談窓口についてなどの啓発を行うにあたり、南希望が丘地区で立ち上げた地域資源としての認知症カフェについて講演会を通し情報提供し、啓発する。	5:地域		11月10日(木)14時~16時 南希望が丘地域ケアプラザとしては5年前に同時に地域にたちあげた認知症カフェ「みなとの茶店」と「きさぶるメリア」のスタッフと共に立ち上げの経緯や普段の様子、来る方や地域にとっての役割について講演を行った。	1	120
61	希望が丘南地区第1支部老人会活動支援	令和元年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	希望が丘南地区の第1支部老人会での様々な活動(勉強会、交流会など)の支援を行う。	1:高齢者		友愛活動研修会、看護学生交流会、介護保険制度説明会、ケアプラザの役割説明など	4	82
62	希望が丘地区3者連絡会(老人クラブ)活動支援	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	希望が丘地区の3者(3つの)老人会での様々な活動(勉強会、交流会など)の支援を行う。	1:高齢者		見守り交流会、活動交流会(グランドゴルフ、ベタンク、ポッチャ)全体交流会 三味線体操(希望が丘地区センター):6月	6	194
63	ハイブリッドうたごえ「音楽る」	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	ミュージックボランティア音楽を中心に、コロナ禍が緩和しつつある中、交流の場に出ることが難しい方や抵抗がある方とITCが苦手だが外出に積極的な方の双方が同じ空間で楽しい場を共有できることを目的とし、世代や地域を超えた交流の場の提供を行います。	5:地域		Zoomを活用したオンラインでうたごえ音楽るを発展させ、会場でもオンラインでも参加可能とするハイブリッドな形で音楽を楽しめる場を提供する。 奇数月:第4月曜日、偶数月第4火曜日	3	104

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
64	ほほえみ会活動支援	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	月に一回中央会自治会では一人暮らし高齢者の交流の場を開催している。ケアプラザとして認知症、介護予防、介護保険サービス、ケアプラザの役割などについて啓発を行う。	1:高齢者		「認知症、介護予防」と「ケアプラザの役割、介護保険サービス」の2回にわけて、啓発を行った。5月、3月実施	2	65
65	公園deラジオ体操	令和4年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	希望が地区第4期地域福祉保健計画の目的B「身近なところからうまれるつながり」を目標としている。希望が丘町内会を中心的な場所である公園で誰もが気軽に立ち寄り集まれるコミュニティの場となるよう働きかける。	5:地域	1 4 5	ラジオ体操と簡単な運動を3月17日、3月23日、30日の3回実施する。	2	45